

地域包括支援センター等へのアンケート調査結果（速報版）

令和3年9月27日

子ども・福祉部

令和3年8月に実施した地域包括支援センターおよび在宅介護支援センターを対象にしたアンケート調査結果の主な概要は、次のとおりです。

※今回は、9月13日時点の速報値。

最終的に、9月末時点における確報値をもとに報告書を作成する予定。

1 回答数

- ・地域包括支援センター 51 箇所（全体：68 箇所）（回収率 75.0 %）
- ・在宅介護支援センター 24 箇所（全体：60 箇所）（回収率 41.0 %）

2 質問項目

○担当地区におけるひきこもり状態にある方の有無

- ・地域包括支援センター 「いる」 47 箇所 (92.2%)、「いない」4 箇所 (7.8%)
ひきこもりの方 269人（うち中高年層 207人）
- ・在宅介護支援センター 「いる」 12 箇所 (50.0%)、「いない」12 箇所 (50.0%)
ひきこもりの方 30人（うち中高年層 24人）

○「いる」と回答・ひきこもり状態にある方を把握する機会（複数回答）

- ・地域包括支援センター

| | |
|---------------------|-------|
| ア 「関係機関からの情報提供」 | 72.3% |
| イ 「当事者の家族からの相談」 | 68.1% |
| ウ 「近隣住民からの情報提供（相談）」 | 55.3% |
- ・在宅介護支援センター

| | |
|----------------------|---------|
| ア 「当事者の家族からの相談」 | 50.0% |
| イ 「関係機関からの情報提供」 | 41.7% |
| ウ 「各世帯の見守りや安否確認時」 | |
| 「近隣住民からの情報提供」 | |
| 「介護サービス提供事業者からの情報提供」 | 各 16.7% |

○ひきこもり状態にある方を知ったときの対応

- ・地域包括支援センター
 - ア 「当事者の家族からの相談を聞く」 35.3%
 - イ 「関係づくりのための訪問を行う」 21.6%
 - ウ 「当事者・家族に対し、相談窓口や支援機関について情報提供を行う」
「相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う」 各 13.7%
- ・在宅介護支援センター
 - ア 「当事者の家族からの相談を聞く」 33.3%
 - イ 「相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う」 25.0%
 - ウ 「当事者・家族に対し、相談窓口や支援機関について情報提供を行う」 16.7%

○連携している関係機関（複数回答）

- ・地域包括支援センター
 - ア 「市役所・町役場」 70.6%
 - イ 「社会福祉協議会」 66.7%
 - ウ 「民生委員・児童委員」 62.7%
 - エ 「生活困窮者自立相談支援機関」 54.9%
 - オ 「保健所・保健センター」 49.0%
- ・在宅介護支援センター
 - ア 「民生委員・児童委員」 58.3%
 - イ 「市役所・町役場」 45.8%
 - ウ 「社会福祉協議会」 37.5%
 - エ 「医療機関」 33.3%
 - オ 「保健所・保健センター」 29.2%

○（中高年層向け）ひきこもり支援で困っていること（複数回答）

- ・地域包括支援センター
 - ア 「家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない」 82.4%
 - イ 「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」 70.6%
 - ウ 「相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる」 66.7%

| | | |
|-------------|--|-------|
| エ | 「当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない」 | 56.9% |
| オ | 「当事者・家族が抱える悩みが多岐にわたっているため、対応に時間がかかる」 | 49.0% |
| ・在宅介護支援センター | | |
| ア | 「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」 | 58.3% |
| イ | 「家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない」 | 54.2% |
| ウ | 「身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない」 | 45.8% |
| エ | 「当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない」 | 41.7% |
| オ | 「当事者・家族が抱える悩みが多岐にわたっているため、対応に時間がかかる」 | 37.5% |

○（若年層向け）ひきこもり支援で困っていること（複数回答）

| | | |
|-------------|--|---------|
| ・地域包括支援センター | | |
| ア | 「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」 | 52.9% |
| イ | 「家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない」 | 47.1% |
| ウ | 「相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる」 | 39.2% |
| エ | 「当事者・家族が抱える悩みが多岐にわたっているため、対応に時間がかかる」 | 37.3% |
| オ | 「若年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない」 | 35.3% |
| ・在宅介護支援センター | | |
| ア | 「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」 | 45.8% |
| イ | 「身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない」 | 37.5% |
| ウ | 「家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない」 | |
| | 「当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない」 | |
| | 「当事者・家族が抱える悩みが多岐にわたっているため、対応に時間がかかる」 | |
| | 「若者層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない」 | 各 33.3% |

○ひきこもり支援のために必要と考える施策（複数回答）

・地域包括支援センター

| | | |
|---|--------------------|---------|
| ア | 「専門的な医療支援・カウンセリング」 | |
| | 「家族支援」 | 各 80.4% |
| イ | 「相談窓口の充実」 | 74.5% |
| ウ | 「就労支援」 | 70.6% |
| エ | 「相談窓口の周知・PR」 | 68.6% |
| オ | 「居場所づくり」 | 66.7% |

・在宅介護支援センター

| | | |
|---|--------------------|---------|
| ア | 「家族支援」 | 79.2% |
| イ | 「専門的な医療支援・カウンセリング」 | 75.0% |
| ウ | 「相談窓口の周知・PR」 | |
| | 「居場所づくり」 | 各 66.7% |
| エ | 「相談窓口の充実」 | 58.3% |

○ひきこもりの状態から社会復帰した人

・地域包括支援センター

「知っている」23箇所（45.1%）、「知らない」28箇所（54.9%）

・在宅介護支援センター

「知っている」1箇所（4.2%）、「知らない」23箇所（95.8%）